

バス運転者の確保及び育成に向けた検討会資料

宮城交通グループ

1. 会社の概要

宮城交通…仙台市を中心に

○路線バス

路線数 40 路線

営業キロ 24,938.9 k m / 日

輸送人員 19,102,303 名 / 年

○高速バス

路線数 21 路線

営業キロ 16,658.0 k m / 日

輸送人員 1,245,228 名 / 年

○受託事業

路線数 19 路線

営業キロ 11,926.6 k m / 日

○運転士数 721 人

○車両数

高速バス 62 両

路線バス 281 両

貸切バス 22 両

契約バス 25 両

ミヤコーバス…仙台市以外の郡部を中心に

○路線数

高速バス 12 路線

路線バス 68 路線

○運転士 388 人

○車両数

高速バス 68 両

路線バス 159 両

養護バス 56 両

契約バス 44 両

B R Tバス 20 両

<参考> 最近の業務量増加実績(宮城交通・運転士)

平成 23 年 6 月	仙台東受託営業所	32 名
平成 24 年 4 月	仙台東受託営業所	30 名
平成 25 年 4 月	霞の目受託営業所	46 名
平成 26 年 4 月	霞の目受託営業所	28 名 (予定)

2. 運転士不足による影響

①高速路線の運休(共同運行会社へ)

・金沢線運休 (1往復、当社便のみ)	平成24年 3月 1日 ~平成24年 7月31日 平成25年 3月 2日 ~平成25年 8月31日
・成田線運休 (1往復、自社便のみ)	平成24年12月 1日 ~平成26年 3月31日
・本荘線運休 (1往復、自社便のみ)	平成24年12月 1日 ~平成26年 9月30日
・盛岡線運休 (1往復、自社便のみ)	平成24年12月 1日 ~平成26年 5月31日 平成25年12月 1日 ~平成26年 3月31日
・大阪線運休 (1往復、自社便のみ)	平成25年 1月16日 ~平成26年 1月15日
・弘前線減便 (1往復、自社便のみ)	平成25年 4月 1日 ~平成25年11月30日
・名古屋線運休 (1往復、自社便のみ)	平成25年 4月 1日 ~平成25年9月30日
・富山線運休 (1往復、自社便のみ)	平成25年12月16日 ~平成26年3月31日

②休日出勤率の高止まり

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	25年度計
平日	62%	62%	60%	62%	50%	62%	62%	62%	60%
土日祝	34%	30%	32%	31%	35%	33%	34%	35%	33%

<参考> 採用・退職の状況と大型二種免許所持率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	25年度計
採用人数	10	6	8	8	7	5	10	5	6	65
内大二所持者	6	3	6	1	2	3	6	1	2	30
割合	60.0%	50.0%	75.0%	12.5%	28.6%	60.0%	60.0%	20.0%	33.3%	46.2%
退職人数	5	4	2	7	4	8	5	4	3	42
採用差異	5	2	6	1	3	▲ 3	5	1	3	23

3. 運転士確保に向けた取り組み

①求人掲載活動

No	内 容	閲覧方法	掲 載 エ リ ア	備 考
1	当社HP	ネット	全国	昨年度から継続実施
2	ハローワーク	ネット、紙	全国	〃
3	タウンワーク(求人雑誌)	〃	宮城県	〃
4	ワーキン(求人雑誌)	〃	宮城	〃
5	ジョブポスト(求人雑誌)	〃	宮城県	不調のため終了
6	はたらいく	ネット	全国	昨年度から継続実施
7	リクナビNEXT	〃	全国	今年度から実施
8	アイデム	〃	全国	不調のため終了
9	日経キャリアNET	〃	全国	〃
10	河北新報朝刊	紙	宮城県	昨年度から継続実施
11	山形新聞朝刊(山形採用)	〃	山形県	〃
12	テレビCM	—	宮城県	〃
13	ラジオCM(AM、FM)	—	宮城、岩手	〃
14	バス広告(後方ガラス)	バス車内	仙台圏	今年度からリニューアル(全乗合車掲示)
15	看板広告	事業所	仙台市内	昨年度から継続実施
16	縦断幕設置	事業所	本社	〃
17	横断幕設置	事業所	本社他4カ所	今年度から実施
18	ワーキン(県外版)	紙	青森、秋田、岩手、山形	不調のため終了
19	ポケットティッシュ作製	街頭	高速PA(菅生、鶴巣)	各説明会、施設、高速道路にて配布
20	チラシ、ポスター作製	〃	高速PA(菅生、鶴巣)	〃
21	従業員向け紹介ポスター作製	〃	自社グループ社員	今年度から実施

②説明会

No	内 容	方 法	対 象 者	備 考
1	自衛隊説明会	セミナー式	任期制、定年制隊員	県内外の各駐屯地で開催
2	再就職支援会社説明会	セミナー式	別会社希望退職者	県内外の施設で開催
3	一般求職者説明会	セミナー式	一般求職者	県及びハローワーク主催の説明会参加
4	大学生対象説明会	セミナー式	大卒学生	県内各大学で開催
5	自社説明会	セミナー式	一般求職者	県内各地で開催
6	バス運転士候補生説明	セミナー式	専門卒、高卒	平成25年度4名採用

③その他

No	内 容	方 法	対 象 者	備 考
1	宮城労働局への働きかけ		宮城労働局	大型二種取得の助成を労働局長へ依頼
2	定年年齢の引き上げ		グループ社員	年金支給開始年齢まで(60歳時賃金保持)
3	運転士紹介制度	増額	グループ社員、OB会員	1万から2万円に増額
4	着任費用支援制度	増額	受験者	10万円から20万円に増額
5	大型二種免許取得支援	拡大	受験者	年齢制限を50歳未満から54歳まで拡大
6	吉岡合宿所の新設	13室	既存・新入社員	営業所の2階部分を合宿所に改築

4. 運転士確保のため(案)

①大型二種取得者への助成金の設立（例：半分は国の負担）

⇒ 大型二種免許取得費用軽減により取得者の増加を見込む。

②特別教習による大型二種免許取得の短縮（21歳未満の者）

⇒ 国が認める特別機関（大型二種取得のための研修所）での特別教習を修了した者が路線バス運転士（限定）に就ける。

③バス運転士養成学校の設立

⇒ 将来、バス運転士を志す者の確保と育成をすることで安定的にバス会社へ運転士を供給する（例：資金は企業や自治体が出資）

また、外国人への職種開放のため、日本語会話力も含めた要請を行う

④女性運転士の採用強化のための環境整備

⇒ 働く女性をバス運転士として採用できるよう環境整備を行う。具体的には、育児休業給付金支給期間の延長（3歳まで）や託児所設置への助成額拡大（設置費を現行の2/3負担から全額負担など）。

⑤バス業界の信頼回復

⇒ 労働条件の改善や安全性を確保することで、バス業界の信頼回復を図り、バス会社及び運転士職に対する社会的地位の向上をはかる。